

うめたに 守まもる



<プロフィール>

- ◆1973年12月9日生まれ
- ◆いて座のA型
- ◆身長/182cm 靴サイズ/29cm
- ◆趣味/スポーツ(バスケット、サッカー)、ピアノ、読書
- ◆家族構成/妻・長男・次男・長女の5人家族
- ◆早稲田大学卒業
- ◆会社員(商社)を経て、2001年から5年半の間、国会議員政策秘書として質問づくりや法案作成等の政策立案に携わる
- ◆2007年4月県議会議員初当選、2011年4月2期当選
- ◆議会では、地元のためにとことん汗をかくと共に、農林漁業を軸としたビジョンを基に数々の政策提言を行い、県政発展のために尽力する

好景気はあなたのところに届いていますか？

- 物価高に収入が追いつかず、実質賃金は下がり続けています。
→家計・地方・中小企業にも景気が広げられるよう提言していきます。
- 原燃料コストが上がっています。
→燃油価格高騰対策として、負担軽減策を提言していきます。
- 生活の足である『軽自動車』の税金も上がります。
→自動車税を軽減していきます。

定数削減など、政治家が身を切る改革は進んでいません。

- 2012年、当時の野田総理と安倍総裁は『増税するときまでに国会議員定数を削減する』と約束しましたが、進んでいないどころか、この総選挙をもってなかったものにしようとしています。
- 税金の遣い道をチェックする行政事業レビューは官僚任せとなり、廃止された事業が復活した例もあります。

年金を守る！社会保障を守る！！

- 安倍政権は、国民に十分説明することなく、年金の積立金の50%を株で運用することに決めました。このままでは、皆さんの年金が不動産・未公開株・商品先物取引などに投資され、危険に晒されます。
→大きなリスクのある株投資での年金運用は断固反対します。
- 全ての人に居場所と出番が生まれますよう、地域医療、介護体制、子育て環境の整備、障がい者の活躍できる地域づくりに全力を尽くします。

次の4年間で白紙委任しないためにも力を！

- 地方再生関連法案は審議不十分のまま強行採決。女性活躍法案も廃案になるなど、臨時国会は中途半端なかたちで打ち切られました。
- 集団的自衛権は、国会での論議を無視し、閉会中に閣僚のみによって解釈変更されました。
→自民党だけが強大な一強多弱の国会では、健全な民主主義が機能しません。
- 特定秘密保護法案によって国民の知る権利が脅かされています。
→国会で政府を監視する仕組みを提案します。

うめたに守は、**政策秘書と県議2期の経験・実績**を活かし政策を提案します。

1.消費増税分は医療・年金・介護・子育てに。

消費税の増税分は、社会保障の充実に充てられる約束でした。ところが、子育て支援予算を縮小し、介護予算をカットする方向が示されています。

- 新潟県が取り組んでいる健康寿命を延ばすための取り組みを後押しし、介護や医療を改革します。
- 現役世代の応援・少子化対策のため子育て支援を行います。
- 教育は保護者の負担軽減、教育の質・量の向上、制度の改善の三本柱で充実させます。

2.日本の真の豊かさに向けた経済政策を提案します。

GDP統計で、経済の失速が明確になりました。

- アベノミクスの陰で苦しんでいる地方、中小企業、働く人(特に非正規雇用者の方々に)光を当てます。
- 企業の社会保障負担を軽減することで、非正規雇用から正規雇用への転換を促し、若い世代の所得を増やします。
- 均等労働・均等待遇を実現し、若い世代が結婚できる社会を実現します。
- 地方経済再生のカギは地域主権改革です。土地利用規制などの権限を地方に移し、身近な自治体が経済を活性化できる仕組みをつくります。

3.現実的な安全保障政策

尖閣諸島や小笠原諸島などの離島防衛、朝鮮半島の緊迫化など日本を取り巻く安全保障の環境は変化しています。安全保障については、与野党を超えて取り組みます。

- 国防の礎である陸上自衛隊の皆さんの待遇を改善しなければなりません。
- 周辺海域におけるグレーゾーン事態対応のため、領域警備法案の成立に力を注ぎます。
- 2004年に民主党、自民党、公明党で成立の合意をした安全保障基本法(緊急事態基本法)の早期成立を目指します。
- 朝鮮半島の有事など、想定しうる危機に備え、わが国の自衛権を再定義するとともに、情報の一元化と収集・分析機能の向上を図ります。

4.農林漁業を守る

現場の声に耳を傾けることなく、「改革」が一方向的に振るわれることで、農林漁業は悲鳴を上げています。故郷で安心して営むことのできる環境づくりに全力で取り組みます。

- 衆参農林水産委員会の「TPP交渉参加に関する決議」の実現に取り組みます。
- 所得補償の恒久化、法制化を実現します。
- 農業(アグリ)の革新(イノベーション)を推進し、新産業化、新エネルギー化等に繋げ、地域の雇用を生み出します。

とことん地域の代表として

北陸新幹線開業を境に、新潟6区(上越市、十日町市、糸魚川市、妙高市、津南町)は新たな時代を迎えます。歴史、伝統、文化、人材、自然、地場産業とあらゆる面で素晴らしい環境と可能性に恵まれた地域を、地元の政治家として、皆さんと一緒に、とことん磨きをかけ発信します。

- 新幹線開業効果を最大限享受できるよう、関係者・関係団体と連携しながら、まちづくり支援を全力で後押しします。
- 政策秘書と県議時代に培ったパイプを活かし、ひとつひとつのご要望にとことん向き合い、実現につながるよう努めます。
- 命の道となる上越魚沼地域振興快速道路の整備促進に取り組みます。
- 直江津港と姫川港をエネルギー・産業等の一大拠点として整備するべく、自治体や関係団体との連携を強化します。
- 保倉川をはじめとする治水対策に取り組みます。
- 地震や噴火などの災害については、ハード・ソフト両面から備えます。
- 小型除雪機、井戸の消雪設備など個人の雪対策費用は雑損控除の対象に法改正を目指します。